

総合教育臨床センターだより

2021年8月 第6号

ご挨拶

総合教育臨床センター長 相澤 雅文

京都教育大学教育創生リージョナルセンター機構総合教育臨床センターは、2019年4月に「特別支援教育臨床実践センター」と「教育臨床心理実践センター」とが統合され開設されました。総合教育臨床センターには特別支援教育臨床実践拠点と教育臨床心理実践拠点とが置かれ、発達面の支援や心理面の支援に取り組んで来ております。

もう少し詳しく申し上げますと、特別支援教育臨床実践拠点は、京都府・市の教育委員会や医療機関、福祉機関等と連携し、地域の障がいのある子ども等を対象とした発達相談や現職教員の研修等を実施しています。また、教育臨床心理実践拠点は、教育臨床心理に関する教育・研究・地域支援並びに関連する事業を推進しています。これまで両センターが担ってきた、教育臨床に関する研究・教育が有機的に連携することで、より充実した子どもたちや地域の皆様への支援を推進して行くことができると考えています。

今後は、これまでの実績を礎として、地域・学校・附属学校園や、京都府・市教育委員会等との連携をさらに深め、子どもの一人ひとりのニーズに対応できる最新の知見を発信することで、社会に貢献していきたいと考えております。

今後とも、「総合教育臨床センター」へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特別支援教育臨床実践拠点の取り組みについて

- 平成25年～現在まで 京都府教育委員会・京都市教育委員会との特別支援教育に関する連携講座を実施しています。
令和3年度は、「現場型」研修会（出前講座）を含め以下の計画となっています。

京都府教育委員会との連携講座

- ・ 講座名「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座
令和3年11月9日（火）13:00～17:00（会場：京都テルサ）
講師：京都教育大学 相澤 雅文・小谷 裕実

京都市教育委員会との連携講座

- ・ 講座名「不器用な子どもの理解と対応」
令和3年6月26日（土）10:30～12:00（オンタイム配信）
講師：京都教育大学 牛山 道雄
- ・ 講座名「学校の宿題と個別の配慮」
令和3年10月30日（土）10:30～12:00（オンタイム配信）
講師：京都教育大学 丸山 啓史
- ・ 講座名「ソーシャル・スキルトレーニングの基礎基本」
オンデマンド配信
講師：京都教育大学 佐藤 美幸



- 令和2年度の特別支援教育臨床実践拠点の発達相談の件数です。

件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ASD	0	0	2	5	2	2	2	2	0	1	0	1	17
知的障害	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
ADHD	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	1	6
LD	0	0	1	2	0	0	2	1	0	0	0	2	8
未診断	3	2	3	8	4	4	3	6	5	4	2	6	50
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
計	3	2	6	15	8	6	7	12	7	7	2	10	85

発達相談のお申込み方法

子どもの発達・教育相談を行っています。

※令和3年8月～9月までは本学改修工事に伴う、センター移転のため、発達・教育相談は休止しています。

発達相談に関しましては、あらかじめ電話でお申込みいただいております。

電話番号 075-644-8354

(月曜～金曜午前10時～午後3時 ※午後0時30分～1時15分除く)

※祝祭日、8/10～8/20、12/28～1/3は除く

お知らせ

特別支援教育臨床実践拠点 年報2号の発行について

京都教育大学特別支援教育臨床実践拠点では、所属する教員（附属学校園を含む）その他の研究者による特別支援教育に関する研究成果を公開することを主な目的とし、年報を年度ごとに発行しています。

この度、第2号を京都教育大学のホームページに掲載しましたので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

「総合教育臨床センター 特別支援教育臨床実践拠点年報」
第2号（令和3年3月発行）

URL <https://www.kyokyo-u.ac.jp/Ccce/2021/04/post-25.html>

京都教育大学のHP > センター > 総合教育臨床センター > 刊行物を順にクリックしていただくとご覧になれます。

特別支援教育実践拠点・スタッフ

専任教員（センター長）教授：相澤雅文

兼任教員 准教授：田爪宏二（教育学科）

准教授：牛山道雄、佐藤美幸、丸山啓史（以上 発達障害学科）

相談補佐員：松中修子（月・木）、福井めぐみ（火・水・金）



本年度の教育臨床心理実践拠点の主要な取り組みについて

教育臨床心理実践拠点では、学校や地域への教育臨床的支援を積極的に展開していく予定です。以下に、主要な取り組みの概略を述べたいと思います。

1. 地域への支援

センター内の「心理教育相談室」では、地域の子ども・保護者・学校（附属学校含む）などへの教育臨床的支援の一環として、平成12年度から相談活動を行ってききましたが、昨年3月末をもち閉室いたしました。昨年度は、年間で実件数47件（延べ回414回）の相談を受けました（表1）。

今後は、教育臨床に関する公開講演会の開催などを通して、地域のみなさま並びに学校現場に貢献して参ります。また、本拠点における附属学校園の幼児・児童・生徒およびその保護者の方を対象とした心理相談については、以下のお知らせのとおり継続いたします。引き続き、何卒よろしくお願いいたします。

2. 附属学校園への支援

附属学校園の子どもとその保護者及び教職員への支援のために、平成23年度から臨床心理士の資格をもつ「スクールカウンセラー（SC）」を派遣しています。昨年度は、4名のSC（附属桃山小学校・附属幼稚園1名、附属桃山中学校・附属高等学校1名、附属高等学校1名、附属京都小中学校1名）を、週1回程度、各学校に派遣しました（表2）。本年も派遣を継続し、附属学校園への支援を行っていきます。

表1 令和2年度 京都教育大学 教育臨床心理実践拠点（心理教育相談室） 相談件数

	不登校	いじめ	非行・しつけ	学業不振	進路・適性	発達の遅れ	対人関係	行動性格情緒	その他	計
相談件数	16	1	0	1	3	1	4	11	10	47
延べ件数	117	27	0	4	21	2	63	80	100	414

* 当相談室は2021年3月末日をもって閉室いたしました。
何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

附属学校園の心理相談に関するお知らせ

附属学校園の幼児・児童・生徒およびその保護者の方を対象に、個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。どうぞお気軽にご連絡ください。

相談申し込み方法

予約制となっておりますので、あらかじめ電話でお申し込みください。

電話番号 075-644-8354

（月曜～金曜午前10時～午後3時 ※午後0時30分～1時15分除く）

※祝祭日、8/10～8/20、12/28～1/3は除く

※新規お申し込みは火曜・水曜・金曜のみ受付を行います。

※「発達相談」と共通の受付電話番号となっておりますので、最初に「心理相談を希望」とお伝えください。

※「心理相談」は京都教育大学附属学校園の関係者以外のご相談はお受けできませんのでご了承ください。

表2 令和2年度 京都教育大学 附属学校園 相談件数

桃山地区スクールカウンセラー(岩瀬佳代子 附属桃山中学校・附属特別支援学校担当 [年40回派遣])
令和2年度(4月～3月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	44	20
延べ相談件数	155	94

桃山地区スクールカウンセラー(中井裕子 附属高等学校担当 [年35回派遣])
令和2年度(4月～3月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	11	17
延べ相談件数	66	61

桃山地区スクールカウンセラー(金子真理子 附属桃山小学校・附属幼稚園担当 [年33回派遣])
令和2年度(4月～3月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	24	23
延べ相談件数	45	94

京都地区スクールカウンセラー(荒井久美子 附属京都小中学校担当 [年37回派遣])
令和2年度(4月～3月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	36	72
延べ相談件数	179	179



教育臨床心理実践拠点・スタッフ

兼任教員 教授：森孝宏
准教授：西村佐彩子